

平成28年度

留萌の研究活動

研究副部長 留萌市立潮静小学校
校長 安田 善見

1. はじめに

留萌管内小中学校長会では、今年度から新しい研究主題「北の大地から世界を見つめ新しい社会の形成に向けて挑戦する子どもを育む学校経営の推進」を設定し、効果的なカリキュラム・マネジメントの在り方を柱とする3か年継続研究に取り組み始めた。年に一度の管内研究協議会では、提言と研究協議で校長の職能向上を目指している。また、道小・道中提言に向けては、プロジェクト委員会を組織して管内校長の実践から提言資料を作成し、全連小及び全日中研究大会参加と還流活動などを通じて、よりよい学校経営の在り方や今後における教育の方向性などについて、校長のリーダーシップに視点を当てて意欲的に研鑽し、課題の究明を目指している。



2. 活動計画

(1) 活動方針

「北の大地から世界を見つめ新しい社会の形成に向けて挑戦する子どもを育む学校経営の推進」を研究主題に、研究副主題を「学校力を高めるために戦略的に思考するカリキュラム・マネジメントの推進～課題をとらえ、解決に導き、よりよい学校づくりを進める校長の在り方～」とする研究活動の充実を図り、校長としての識見を高め、指導力の向上に努める。

(2) 研究推進の重点

- ① 本年度の研究協議会は、研究主題に基づく3か年継続研究の1年目の研究を推進し、第64回留萌管内小中学校長会教育研究協議会において共通理解を深めるとともに、今後の研究の見通しを確かなものとする。
- ② 道小・道中提言に向け、提言プロジェクト委員会の活動を充実し、研究推進に努める。
- ③ 研究集録『和心一統』第47号を発刊し、研究の成果と校長会の足跡を記録に残す。
- ④ 道小・道中研究部、各市町村研究部及び関係機関との連携の強化に努める。
- ⑤ 留萌管内研究団体連絡協議会の会長・事務局長として、各種研究会の連絡調整に努める。

3. 研究活動

(1) 3か年継続研究計画

- ① 目的 「よりよい学校づくりを実現するために校長がなすべきことは何か」を究明し、『いい学校の創り方』を検討する。
- ② 内容 自校の課題を捉えた上で、課題の解決や改善、新たな取組の実施に向けて校長がどのようなことを目指したり、どのようなことを考えたりして何を行い、それがどのように進行し、いかなる結果となっているのかを提示し、検討することで学校づくりに有効だと考えられる手だてや経営手法を明らかにする。

③研究計画（平成28年～平成30年）

- ・1年次…研究骨子の構築，研究史点の設定。課題の設定と改題解決の方向性の検討。
- ・2年次…課題解決への実践事例の収集。研究内容の分析，新たな課題設定。
- ・3年次…研究に基づく実践と成果の集約。課題解決への具体方策。研究のまとめ。

(2) 第64回留萌管内小中学校長会教育研究協議会の開催

- ① 期日 平成28年 8月 8日（月）
- ② 会場 小平町文化交流センター
- ③ 内容 研究部基調提言，講話，演習・グループ協議

■ 研究部基調提言の概要

- ・研究部が提唱する「カリキュラム・マネジメント」についての理論
- ・「カリキュラム・マネジメント」のモデル（全体構造図）の作成について
- ・3か年の研究の方向性，本年度及び2年次以降の研究内容について

■ 講話「新しい時代に必要な資質・能力の育成

～カリキュラム・マネジメント」の充実～

講師・北海道教育庁留萌教育局義務教育指導監 吉田昌広様

■ 演習・グループ協議の概要

- ・演習…学校経営計画をもとに各校の「カリキュラム・マネジメント」全体構造図を作成
- ・協議…作成した全体構造図をもとに，自校の経営上の課題や具体的な改善点について交流した後，管内共通の課題について協議

(3) 平成28年度 北海道小学校長会教育研究小樽大会の提言

■ 第4分科会「知性・創造性」

■ 研究発表 「しなやかな知性と豊かな創造性を培うカリキュラム・マネジメントにおいて発揮すべき校長のリーダーシップについて」

■ 提言者 苫前町立苫前小学校長 堀井理

(4) プロジェクト委員会の開催

平成29年度道小宗谷大会第7分科会の提言発表に向けてプロジェクト委員会を組織し、準備をめている。

(5) 新任校長会への参加

管内校長会で実施した「新任校長研修会」では，研究部から校長会の活動の中核をなす研修・研究活動の重要性や組織体制について説明し，校長会の連携や校長としてどのように学校経営に当たるかを新任校長とともに考え，協議した。

(6) 各種研究会への参加，還流

研究会参加報告は研究集録「和心一統」に掲載して還流を図っている。

- 北海道小学校長会教育研究小樽大会 小学校長 8名参加
- 北海道中学校長会教育研究大会上川・旭川大会 中学校長 11名参加
- 全国連合小学校長会研究協議会高知大会 小学校長 2名参加
- 全日本中学校長会研究協議会宮城大会 中学校長 1名参加

4. おわりに

3か年研究の1年目となる今年度の研究協議会では，研究内容とその理論，今後の具体的な取組を管内校長に周知することを目的として，研究部が基調提言を行ったが，次年度からは校長の実践をもとにした提言発表と研究協議を行ってさらに研究を深めていく。留萌の子どもたちのため，留萌の教育の一層の充実に向けて実りある研究を推進していきたい。